

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-57668

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月3日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
D 0 6 F 35/00			D 0 6 F 35/00	A
43/00			43/00	Z

審査請求 有 請求項の数3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-238409

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月20日

(71) 出願人 596132606

有限会社丸子クリーニング

長野県小県郡丸子町大字上丸子1636番地3

(72) 発明者 笹野 泰宏

長野県小県郡丸子町大字上丸子1636番地3

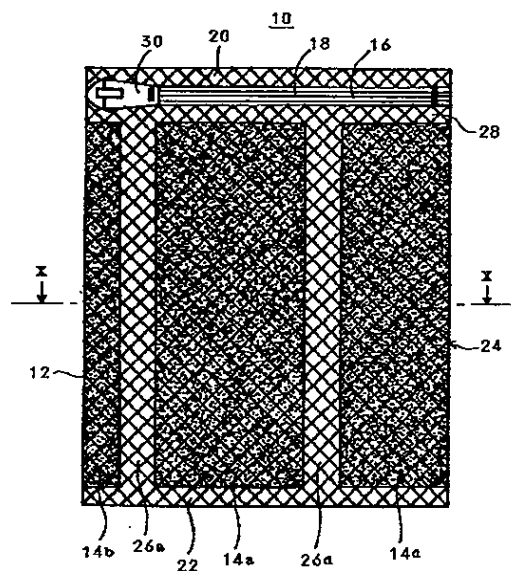
(74) 代理人 弁理士 柳沢 大作

(54) 【発明の名称】 ドライクリーニング用洗濯物収納袋

(57) 【要約】

【課題】 前処理を十分行っても、ドライクリーニング液中に含まれる水分が過剰にならず、洗濯物から水溶性の汚れを良好に除去し、洗濯物に再汚染、部分収縮等を起こり難くし、洗濯物の型くずれ、紛失、損傷等の発生を防止する。

【解決手段】 開閉可能な開口部を有する合成繊維製網袋の内面に、吸水層を備え付ける。



10 ドライクリーニング用洗濯物収納袋 12 合成繊維製網袋
14 吸水層 16 開口部 18 開閉具 20、22 上、下端部
24 中央部 26 吸水層の無い長方形領域 28 吸水層の無い箇所
30 つまみ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 開閉可能な開口部を有する合成繊維製網袋の内面に、吸水層を備え付けることを特徴とするドライクリーニング用洗濯物収納袋。

【請求項2】 合成繊維製網袋の内面に、吸水層の無い箇所をほぼ均等に配置することを特徴とする請求項1記載のドライクリーニング用洗濯物収納袋。

【請求項3】 吸水層にタオル地を用いることを特徴とする請求項1又は2記載のドライクリーニング用洗濯物収納袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はドライクリーニング時に洗濯物を収納して使用するドライクリーニング用の洗濯物収納袋に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ドライクリーニングでは水洗いすると縮んだり、型くずれしたり、色落ちしたりするような洗濯物を安全に洗うため、水の代わりにドライクリーニング用有機溶剤（略してドライ溶剤）を使用している。このドライ溶剤は油性物質を溶かす性質を持った揮発性の液体であり、水のように繊維を膨潤させることがない。それ故、洗濯物をドライ溶剤に浸すと、洗濯物に付着した身体から分泌される皮脂や排ガスに含まれる油分等の油状物質を溶解して取り除き、後に残るすすや埃等の汚れを機械的に除去することができる。しかも、洗濯物に収縮等が発生しなくなる。因みに、ドライ溶剤のみでは洗濯物に付着した水溶性の汚れを取り除くことができない。

【0003】このようなドライ溶剤として、テトラクロロエチレン（パークロロエチレン略してパーク）と石油系溶剤の2溶剤が主に使用されている。なお、1, 1, 3-トリクロロトリフロロエタン（略してフロン-113）と1, 1, 1-トリクロロエタン（略してエタン）の2溶剤はオゾン層破壊物質に関連して、1995年末で製造が禁止された。

【0004】それ故、ドライ溶剤の使用に際し、現在ではパークと石油系溶剤のいずれを選ぶかが問題になる。そこで、両溶剤の特徴を比較すると、パークには引火性がなく、引火性の点等で優れているため、世界で最も多く使用されているのに対し、石油系溶剤には引火性がある。又、パークには油脂溶解力が大きく、揮発し易いことにより、短時間で洗浄、乾燥を行えるため、生産性が高い等の利点がある。一方、石油系溶剤には洗濯物に対する安全性（比重、KB値）が高く、ソフト洗いに適し、安価である等の利点がある。そして、パークには風合いが粗硬になり易く、樹脂や顔料を溶かし易い等の欠点があるのに対し、石油系溶剤には乾燥に高温と時間を要するため、風合い、生産性が劣る等の欠点がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、今日では大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等の環境に対する影響が大きな問題になってきている。この点に関し、パークは有害物質として化審法の第2種特定化学物質に指定されている。それ故、パークを使用するに当っては排水量の多少にかかわらず適用される排水基準が設定されている外、排水を事業場から地下に浸透させてはならないとされている等、石油系溶剤より特に取扱や環境保全対策に留意が必要である。

10 【0006】そこで、パークより洗浄力は劣るが、環境保全に関する規制が緩やかな天然溶剤である石油系溶剤にドライ溶剤の主流が移行しつつある。なお、洗濯物には一般にドライクリーニングのみでは除去できない汗や食べこぼし等の水溶性の汚れが付着している。それ故、石油系溶剤を用いる場合にも、当然水溶性の汚れを除去するためにドライクリーニング用洗剤（略してドライ洗剤）を加えて使用しなければならない。しかし、ドライ洗剤を用いても、洗浄中に水溶性の汚れを完全に除去することは困難である。

20 【0007】このため、前処理として洗浄前に水を含む前処理液で汚れ箇所をブラシ掛けするとか、水を含む前処理剤としてのしみ抜き剤を汚れ箇所にスプレーしておく等の処理を行っている。しかし、前処理によってドライクリーニング液中の水分が過剰になり、洗濯物に再汚染、部分収縮等の悪影響がで易く問題がある。又、石油系溶剤でドライクリーニングした衣類の乾燥が不十分だと、洗剤の残留した衣類を着用した者に皮膚障害が発生するという問題もある。

30 【0008】本発明はこのような従来の問題点に着目してなされたものであり、第1に前処理を十分行っても、ドライクリーニング液中に含まれる水分が過剰になり難く、洗濯物から水溶性の汚れを良好に除去できる上、洗濯物に再汚染、部分収縮等が起こり難く、洗濯物の型くずれ、紛失、損傷等も発生し難いドライクリーニング用洗濯物収納袋を提供することを目的とする。

40 【0009】第2にドライクリーニングした洗濯物の乾燥を良好に行えることにより、着用者に皮膚障害の発生し難いドライクリーニング用洗濯物収納袋を提供することを目的とする。第3にドライクリーニング用に適し、吸水性に優れた吸水層を有する製造が簡単で、安価なドライクリーニング用洗濯物収納袋を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、第1目的に対応するドライクリーニング用洗濯物収納袋では開閉可能な開口部を有する合成繊維製網袋の内面に、吸水層を備え付ける。

50 【0011】又、第2目的に対応するドライクリーニング用洗濯物収納袋ではその合成繊維製網袋の内面に、吸水層の無い箇所をほぼ均等に配置する。又、第3目的に

対応するドライクリーニング用洗濯物収納袋では吸水層にタオル地を用いる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、添付図面に基づいて、本発明の実施の形態を説明する。図1は本発明を適用したドライクリーニング用洗濯物収納袋の形態の一例を示す正面図、図2がそのX-X線断面図である。図中、10がドライクリーニング用洗濯物収納袋、12がそのポリエステル等からなる合成繊維製の長方形網袋、14(14a、…14d)がその網袋12の内面に備え付けた長方形形状のタオル地等からなる吸水層、16が網袋12の一端部に設けた開口部、18がその開口部16に設置したファスナー等の開閉具である。このように網袋12に合成繊維を用いると、合成繊維は一般的性質として強く、軽く、薬品、虫、かびに抵抗性があり、吸水性が少ないため、網袋12がドライクリーニング用の洗濯物を収納する袋として適するようになる。特にポリエステル等の合成繊維が耐熱性、耐薬品性が良く、強度が大きい

ため好適である。

【0013】又、網袋12の内面に吸水層14を縫い付ける等して備え付けると、その吸水層14にドライクリーニング液中の水分を良く吸収させることができる。それ故、前処理を十分行ってもドライクリーニング液に含まれる水分が過剰にならない。しかし、網袋12の内面全体に吸水層14を備え付けておくと、衣類等の洗濯物の乾燥を短時間で言い難い。そこで、網袋12の内面に吸水層14の無い箇所を設け、そこから乾燥した空気等が内部に入るようにする。例えば、図のように網袋12の上下端部20、22に吸水層14を設けず、その中央部24には吸水層14の無い長方形領域26(26a、…26d)を隣接する吸水層14の間にそれぞれ設け、網袋12の内面に吸水層14の無い箇所28をほぼ均等に配置する。すると、その箇所28を通じて多方向から収納袋10の内部に乾燥した空気が出入りし易くなる。

【0014】このような吸水層14としてタオル地を用いると、タオル地は通常木綿でできており、布面に輪糸等があって水分を良く吸収する構造を備えているため、特に好ましい。なお、木綿は天然の代表的な衣料用繊維であって安価であり、それ自体の一般的性質として丈夫で、吸水性、耐熱性、耐洗濯性(耐機械性)が良い等の

特長を備えている。

【0015】このようなドライクリーニング用洗濯物収納袋10を用い、石油系溶剤を使用してドライクリーニングをする場合、衣類等の洗濯物の汚れ箇所に対し、適宜前処理として前処理液でブラシ掛けし、或いはしみ抜き剤をスプレーする。そして、収納袋10の開口部16より内部に洗濯物を入れる。その際、開口部16はつまみ30を持って操作することにより、自在に開閉できる。そこで、収納袋10の内部に洗濯物を収納した後、

開口部10を閉じ、ワッシャーのドライクリーニング液中に浸して洗浄を行なう。

【0016】このような洗浄中、衣類等の洗濯物は収納袋10を構成する合成繊維製網袋12の内部に収納されているため、型くずれせず、紛失や損傷等から良好に保護できる。しかも、網袋12の目が細かい程、外部からのホック、ボタン、ファスナー等の接触による損傷等が少なくなるため、洗濯物を一層保護できる。但し、網袋12の目が細かい程、収納袋10内への洗浄液の出入りが少なくなる。又、網袋12の内面に備え付けた吸水層14によってドライクリーニング液中の水分過剰を防止できるため、洗濯物から水溶性の汚れを良好に除去できると共に、洗濯物に再汚染、部分収縮等が起こり難くなる。

【0017】洗浄後、洗濯物からドライ溶剤等を取り除くため、収納袋10に入れたまま脱液と乾燥を行なう。脱液方法は通常遠心脱液であるが、乾燥方法にはタンブラー乾燥、自然乾燥、乾燥室乾燥等の方法がある。乾燥時、網袋12の内面に吸水層14の無い箇所28をほぼ均等に配置しておくと、それ等の箇所28を通じて多方向から収納袋10の内部へ乾燥した空気等が出入りする

ため、洗濯物の乾燥を短時間で良好に行なえる。

【0018】このような洗濯物を着用すると、洗濯物の乾燥が良好に行なえているため、石油系溶剤を使用しても、着用者に皮膚障害が発生しない。なお、洗濯物についていた汚れ等は吸水層14として使用したタオル地に良く付着するので、時々収納袋10を洗濯して使用する。

【0019】なお、上記実施の形態では網袋12の中央部24の内面に吸水層14を4箇所等間隔ずつ離して並べて備え付ける等して、網袋12の内面に吸水層14の無い箇所28をほぼ均等に配置したが、図3に示すように網袋12の中央部24の内面全体に吸水層32を備え付け、その吸水層32に種々の形状の穴例えば円形穴34を多数、縦横に均等に並べて設ける等して、網袋12の内面に吸水層32の無い箇所36をほぼ均等に配置してもよい。

【0020】又、上記実施の形態では吸水層としてタオル地を用いたが、下着等に用いられるメリヤス、市販されている吸水マット等、他の吸水性のよい材料を使用してもよい。

【0021】

【発明の効果】以上説明した本発明によれば、請求項1記載の発明では合成繊維製網袋の内面に備え付けた吸水層によって水分をよく吸収できるため、前処理を十分行ってもドライクリーニング液中の水分が過剰になり難い。それ故、洗濯物から水溶性の汚れを良好に除去できる上、洗濯物に再汚染、部分収縮等も起こり難い。又、合成繊維製の網袋を用いると、洗濯物に型くずれ、紛失、損傷等が発生し難い。

5

【0022】又、請求項2記載の発明では網袋の内面に吸水層の無い箇所をほぼ均等に配置することにより、それ等の箇所を通じて多方向から収納袋の内部に乾燥した空気等が入り易くなるため、ドライクリーニングした洗濯物の乾燥を良好に行なえる。それ故、洗濯物の着用時に皮膚障害が発生しなくなる。

【0023】又、請求項3記載の発明では吸水層に最も一般的な布地であるタオル地を用いて、タオル地のドライクリーニング用に適し、吸水性に優れた特性を生かすことができる。それ故、ドライクリーニング用洗濯物収納袋を簡単に、安価に製造できる。

【図面の簡単な説明】

6

【図1】本発明を適用したドライクリーニング用洗濯物収納袋の形態の一例を示す正面図である。

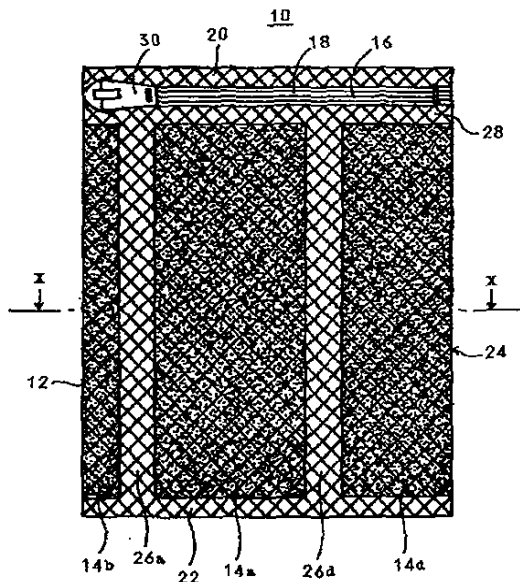
【図2】図1のX-X線断面図である。

【図3】本発明を適用したドライクリーニング用洗濯物収納袋の形態の他の例を示す正面図である。

【符号の説明】

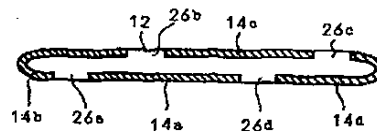
10…ドライクリーニング用洗濯物収納袋 12…合成繊維製網袋 14、32…吸水層 16…開口部 18…開閉具 20、22…上、下端部 24…中央部 26…吸水層の無い長方形領域 28、36…吸水層の無い箇所 30…つまみ 34…穴

【図1】

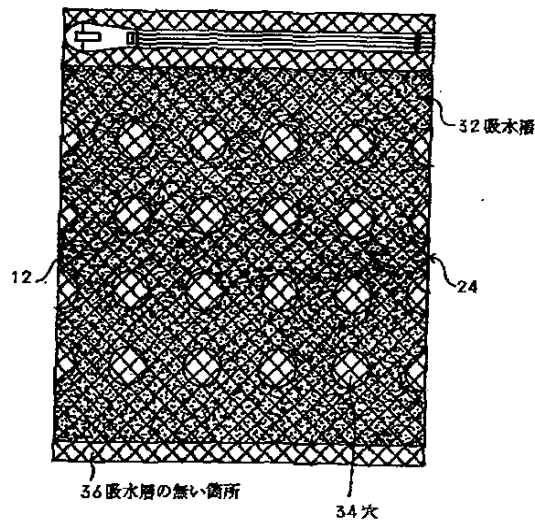


10 ドライクリーニング用洗濯物収納袋 12 合成繊維製網袋
14 吸水層 16 開口部 18 開閉具 20、22 上、下端部
24 中央部 26 吸水層の無い長方形領域 28 吸水層の無い箇所
30 つまみ

【図2】



【図3】



DERWENT- 1998-210887

ACC-NO:

DERWENT- 199925

WEEK:

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Washing storage bag for dry cleaning - comprises operable
vent formed at top edge of synthetic fibre net bag part
which is equipped with water absorption layer

PATENT-ASSIGNEE: MARUKO CLEANING YG[MARUN]

PRIORITY-DATA: 1996JP-0238409 (August 20, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 10057668	AMarch 3, 1998	N/A	004	D06F 035/00
JP 2892625	B2May 17, 1999	N/A	004	D06F 035/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 10057668	AN/A	1996JP-0238409	August 20, 1996
JP 2892625	B2N/A	1996JP-0238409	August 20, 1996
JP 2892625	B2Previous Publ.	JP 10057668	N/A

INT-CL (IPC): D06F035/00, D06F043/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10057668A

BASIC-ABSTRACT:

The bag (10) consists of a synthetic fibre net bag part (12) with a top edge (20) and a bottom edge (22). An operable vent (16) is formed at the top edge of the net bag part which is equipped with a water absorption layer (14).

ADVANTAGE - The bag prevents loss, damages and skin hazards during washing.

CHOSEN- Dwg.1/3

DRAWING:

TITLE- WASHING STORAGE BAG DRY CLEAN COMPRISE OPERATE VENT

TERMS: FORMING TOP EDGE SYNTHETIC FIBRE NET BAG PART EQUIP WATER
ABSORB LAYER

DERWENT-CLASS: F07

CPI-CODES: F03-J01;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1998-066488